

実施年度：令和5年度

背景・課題

トマトの施設栽培では、土壌伝染病害虫の防除対策として土壌くん蒸剤のダゾメット粉粒剤を使用してきたが、より環境への負荷が低い資材への転換と土壌病害等低減による安定生産の確立が課題。

目指すグリーンな栽培体系

- 現在使用しているダゾメット粉粒剤の代わりに、環境への負荷が低い糖含有珪藻土を活用した土壌還元消毒法に転換するとともに、同資材をマニュアルスプレッダで散布することで散布作業の省力化を実現する。
- グリーンな栽培体系に取り組む面積
令和5年度：25a → 10年度：49a

構成員

農業者、さいたま市、埼玉県さいたま農林振興センター

品目

トマト（施設）



さいたま市

取組の内容

生産

- 土壌消毒法をダゾメット粉粒剤による土壌くん蒸から糖含有珪藻土による土壌還元へ転換。
- 糖含有珪藻土をマニュアルスプレッダで散布し、散布作業の省力化を検証。
- 土壌病害等低減による安定生産の確立を目指し、栽培マニュアルを策定。



マニュアルスプレッダによる糖含有珪藻土散布



被覆後の様子

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組時期							栽培実証			実績検討会		
							検討会の開催			グリーンな栽培体系 マニュアルの策定		

普及に向けた取組

今後は、化学薬剤を使用しない土壌還元消毒技術である糖含有珪藻土を利用した栽培法に係る普及マニュアルを作成し、多くの生産者に技術を理解してもらうことにより、地域内の環境への負荷や農業者への影響を少なくするとともに、作業時間の削減も目指す。

問い合わせ先

埼玉県さいたま農林振興センター TEL：048-822-2492